

## III-4、「正面説」の親柱と羽目石の組立ては妥当か——西村説の検証

## 要旨

- ・西村氏が、「正面説」の物証として提示した石階段の親柱と羽目石の組立て写真を検証した。
- ・一見すると親柱と羽目石は、うまく噛み合っているように見える。
- ・この親柱と羽目石の組み立てが妥当かどうかを、発掘調査報告書の正確な実測図で検証した。
- ・西村氏が提示した親柱と羽目石は、ホゾとホゾ穴のサイズが異なるため、組立てることができない。
- ・西村氏は、基壇親柱を石階段の大龍柱側の親柱と誤認したうえで、この親柱に石階段の羽目石を組み合わせている。

## 1) 出土遺物の事実誤認がある

- ・Sc-博6の分析結果をふまえて、西村説の根拠の一つを検証した。
- ・西村氏は、戦前大龍柱が当初は石階段欄干に接続して正面を向いていたとして、想像図を描いている(図1左)。
- ・その物証として、戦前古写真の「龍柱側の親柱」と羽目石の出土遺物の組立て写真を挙げている(図1右)。



図1：西村氏が描いた正面向き大龍柱想像図と、その物証として提示した親柱と羽目石(西村2020より)

- ・まず、西村氏が物証とする「龍柱側の親柱」と羽目石の組立てが妥当か検証しよう。
- ・西村氏が掲げた「龍柱側の親柱」写真の遺物は、親柱が埋文2016『首里城跡—正殿地区発掘調査報告書』の154図12(図2左のSa-埋2016-2)で、羽目石は、152図4(図2中のSa-埋2016-4)である。

- ・親柱 Sa-埋 2016-2 は、実測図断面をみれば分かるように左右の笠石ホゾ穴は等位置で大きさも同サイズである。これは、基壇の親柱であって石階段の親柱ではない。

27

## III 遺物・残欠による検証——安里報告資料

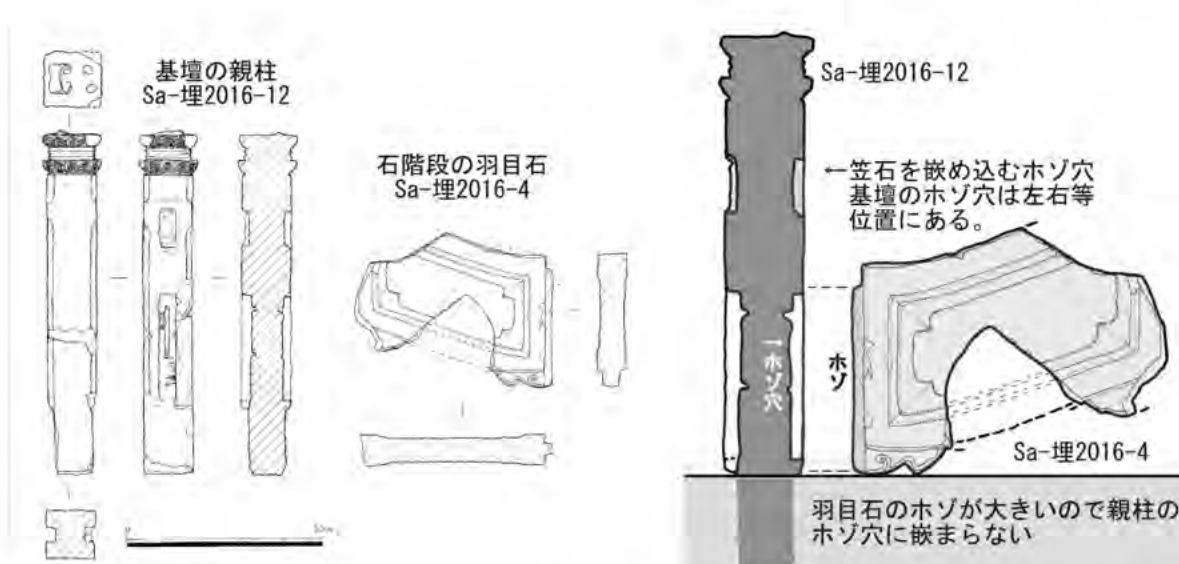


図2：西村氏提示の親柱 Sa-埋 2016-12 と羽目石 Sa-埋 2016-4 の遺物実測図による組立

左の実測図は、『首里城跡 正殿地区発掘調査報告書』の基壇の親柱 (Sa-埋 2016-2) と石階段の羽目石 (Sa-埋 2016-4)。右は、西村氏の写真に合わせて組立てた親柱と羽目石の実測図。基壇の親柱と石階段の羽目石は、ホゾとホゾ穴の大きさが異なるので嵌め込むことができない。

- ・石階段の欄干部材は、西村氏の大龍柱想定図(図1左)に描かれているように斜めに取り付くので、親柱のホゾ穴は上側と下側で位置がずれる。
- ・図3に見るように、Sa-埋 2016-12 は、大龍柱側親柱とも他の石階段の親柱ともホゾ穴の位置やサイズも異なる。石階段の親柱ではないことは明らかだ。

- ・西村氏が示した写真では、一見すると親柱と羽目石が組み合うように見えるが、図2右に示したように、親柱のホゾ穴と羽目石のホゾのサイズが異なり、羽目石のホゾが大きいため親柱のホゾ穴に嵌め込むことができない。

- ・これは、石階段の羽目石と基壇の羽目石の大きさが異なるためである(石階段羽目石が大きい、図4)。

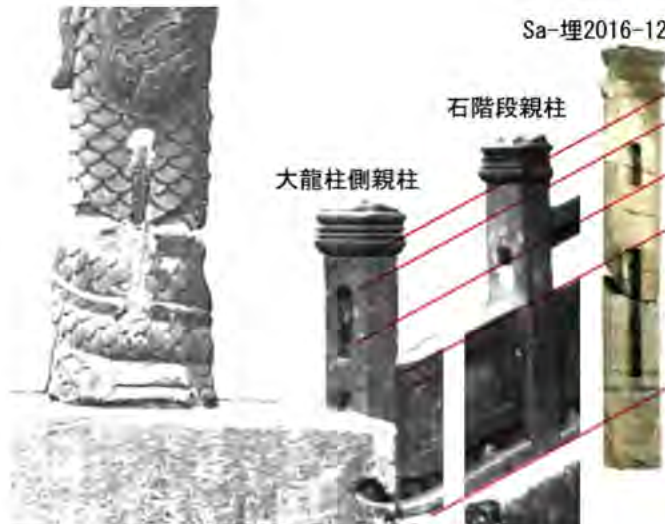


図3：石階段の親柱と欄干親柱 Sa-埋 2016-12 のホゾ穴比較

28

## III 遺物・残欠による検証——安里報告資料

- ・重ねて説明しよう。図4上は、出土した基壇欄干部材を組立てた図である。基壇床面が水平なので、親柱 (Sa-埋 2016-12) と東石のホゾ穴は左右等位置にある。笠石と羽目石のホゾも親柱・東石のホゾ穴とびたりと嵌まる。
- ・一方、羽目石 Sa-埋 2016-4 は、湾曲する形状からみて間違いなく石階段の大龍柱側の羽目石である。この形状の羽目石は、石階段の大龍柱側にしか存在しない。
- ・図4下で、石階段羽目石 (Sa-埋 2016-4) と基壇欄干の羽目石 (Sa-埋 2016-1) のホゾの長さを比較した。石階段と基壇の羽目石は、ホゾのサイズが異なる。石階段羽目石のホゾが長いので、基壇親柱 Sa-埋 2016-12 のホゾ穴に嵌め込むことができない。
- ・西村氏は、基壇親柱を石階段の大龍柱側親柱と誤認したうえで、基壇親柱と石階段羽目石という異なる部材を組立てて、大龍柱の正面向きの「物証」だと主張している。

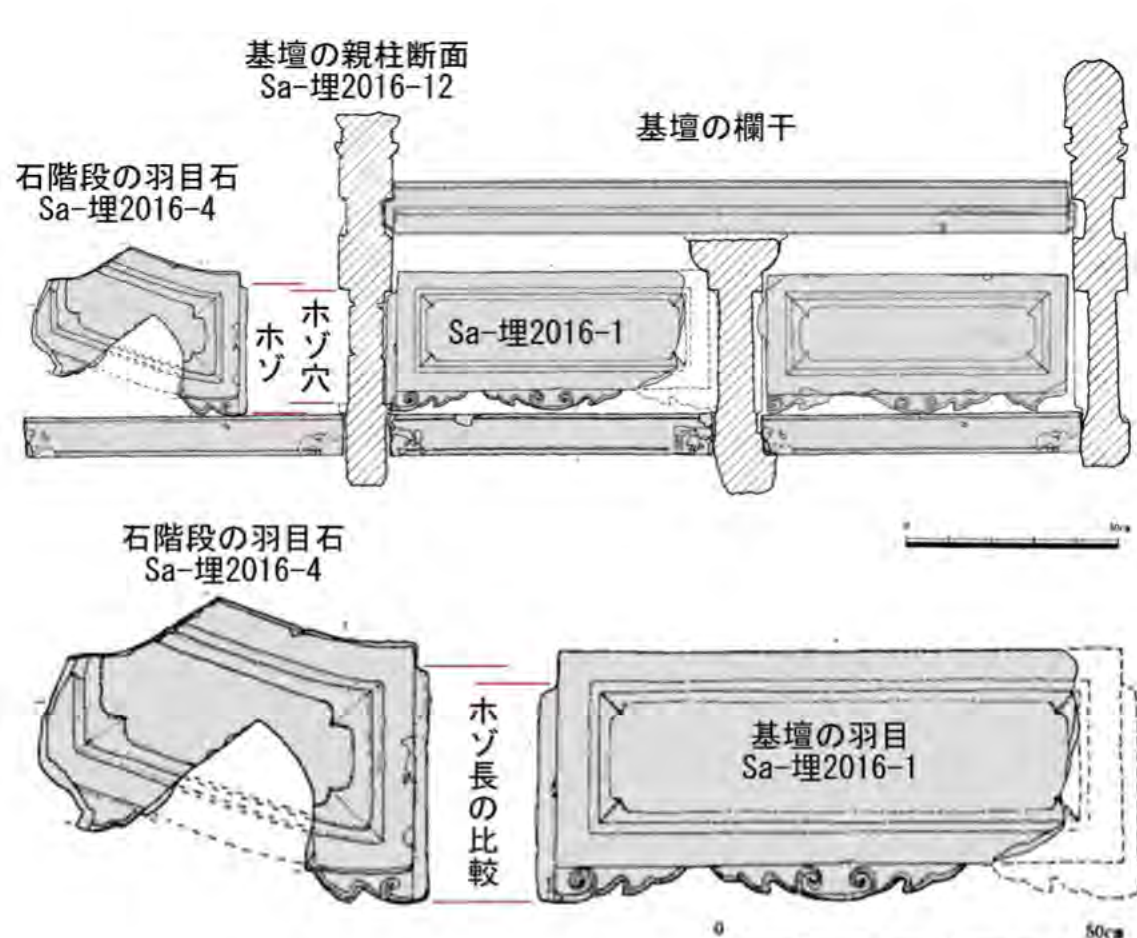


図4：出土遺物で組立てた基壇欄干と石階段の羽目石のホゾとホゾ穴の比較

## 引用文献

西村貞雄 2020「独自性と大龍柱(下)」沖縄タイムス、9月23日。

29

## III 遺物・残欠による検証——安里報告資料

2020年1月30日配布版

- ・阿形大龍柱側の本当の親柱は別にある。「正殿地区発掘調査報告書」のp.295図11(図4)である。この親柱の笠石ホゾ穴は、ほかの親柱笠石ホゾ穴より長く、また石灰で埋めているので、大龍柱側の親柱の古写真とも合致する。

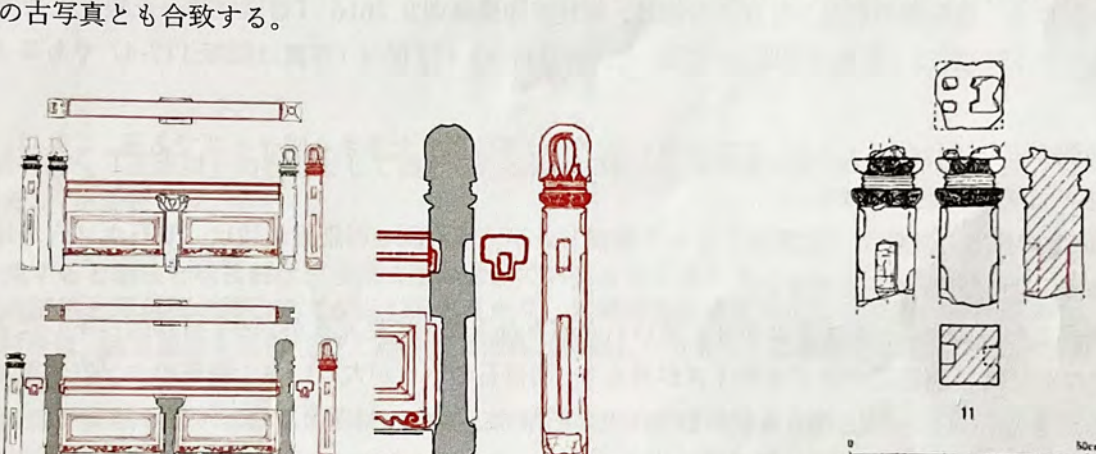


図3：出土遺物による基壇欄干の組立て

図4：阿形大龍柱側の親柱

大龍柱側の石階段親柱は、笠石ホゾを嵌め込むホゾ穴が、左右で大きさが異なる。

## 引用文献

西村貞雄 2020「独自性と大龍柱(下)」沖縄タイムス、9月23日。